



# 愛知陸協広報

第14号

21年6月30日発行

愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号千代田ビル7F

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

e-mail ark@marble.ocn.ne.jp

ホームページ: url <http://goldjaic.org/jaic/member/aichi/>

## 「陸上愛知」の飛躍で時代の閉塞感破ろう—21年度を迎えて

愛知陸上競技協会会長 梅村 清弘

世界経済はアメリカの経済危機を発端に一気に総崩れとなり、とりわけ日本経済の牽引役、愛知、名古屋地域は経済活動が沈滞し、閉塞感に覆われております。この空気を打ち破り、活力を取り戻すためにスポーツが果たす役割は大きく、当協会も4月から新しい体制で臨みましたが、挙げて「陸上愛知」の飛躍・発展に努め、時代の閉塞感を破っていかうではありませんか。

4月から國分一郎氏が理事長職を退任し、外山幸男副理事長が昇格、新しい理事長に就任しました。外山新理事長は長く協会役員の大要職を歴任され、新時代を担っていく最もふさわしい指導者です。國分前理事長には、引き続き副会長として留まり、会長を補佐するとともに、大所高所から新理事長を支えていただきます。新体制へのご協力を、この場を借りてよろしく願います次第です。

昨年は第26回レディース陸上競技大会を本県で開催し、大成功のうちに終わることができました。参加者が予想を超えて増え、競技時間を早めるなど、予期せぬ対応に迫られることがありましたが、大きな成果をあげ、協会・会員とも一回り大きくなりました。本年度は第30回国際・全日本マスターズ陸上競技大会が、海外からの参加者も加わって盛大に開かれ、協会も運営に協力しますが、男子30歳、女子35歳からの元気な中高年アスリートの競技は、指導者だけでなく県内の若いアスリートに良い刺激を与えることでしょう。

経済が厳しさを増すなか、県の特別のご配慮で、県営一宮陸上競技場が全天候型に改良され、4月4日新装オープンしました。陸上競技の発展、選手の育成に、競技環境の整備は不可欠で、尾張地域だけではなく、県内の陸上指導者にとって大きな喜びであります。県のご配慮に応えるべく、これまで以上に若い優秀な選手の発掘、指導に力を入れていかねばならないことはいうまでもありません。協会は選手の強化費を減らしておりません。「元氣な愛知」の復活をめざし、強く、力のある選手を一人でも多く育てていかうではありませんか。



## 理事長退任に当たって思うこと

副会長 國分 一郎

平成7年度より平成20年度まで、理事長を14年間務めさせていただきました。歴代理事長の執務年数では、高橋公一前会長<東海広告(株)>が29年間、私が14年で、次に近藤卓夫先生の6年と続きます。14年もよくやったものだ、今しみじみ思っています。

近藤理事長の頃には、東海広告(株)の社員の中に陸協事務を担当する高木景、北村博美の両氏がいました。この両氏が退社された時に理事長を引き受けましたので、理事長・総務・庶務の業務を無我夢中で過ごした14年間でした。

10年間毎日のように入出金・振込の内訳を前会長に説明し、出金伝票に押印を受けました。理事長初期の頃は、説明不十分で押印が受けられず、出金できないこともありましたが、銀行行きの業務は会社の方でやっていただきました。

前会長は庶務的なことはされないで、コピー機、印刷機の新規購入はほとんど認められず、譲り受けたものを修理して使う10年間でした。愛知陸協旗の新規作成にも同意されず、古くて破れたものを使い続けた10年間でした。

鶴舞アネックスビルから現在の事務所への移転は、私が理事長になって間もない平成12年2月1日でした。搬出班・輸送班・搬入班の3班編成でやりましたが、20人程集めましたので、『お前はお祭りでもやるのか』と前会長から叱られました。東海広告(株)の前のビルに移ったことで、前会長の呼び出しには2分以内に顔を出し、対応していました。

私が理事長になった頃、中学生の登録者数は170名程度で、全国大会等に出場する者だけでした。私は、陸協の主催する大会に出場を希望する者は、登録をしなければ出場できないということになりました。当時は批判もありましたが、中学生の出場できる競技会を作り、現在では任意なのに5000名を超える登録者数になりました。

愛知陸協では毎年2名のC級コーチが生まれていますが、資格を取るには何日も職場を空けなければなりません。受講料、交通費、宿泊費が自己負担では、この資格を取ろうという人は出ませんでした。そこで当時の強化委員長安井繁男氏と話し合い、2名に限り費用を全額協会に負担する案を作りました。前会長を説得し、認めてもらった制度です。

トレーナー部会が陸協主催の大会によく協力してくれませんが、何か協会も協力しないといずれ協力は得られなくなると考えました。そこで協会は、トレーナー部会が夏に開催する3泊4日の研修会を全面的に支援する案を作り、前会長に強く要請して承を得ました。今後も日本を代表する講師を招いて、レベルの高い研修会を続けてほしいものです。

新しく会長にお引き受けいただいた梅村清弘氏から、女性の登用、広報活動の充実、役員定年制の導入等を要請されました。そこで作ったのが、女性委員会、年誌資料・広報委員会、役員定年に関する規約です。

現在協会が行っている多くのことは、高橋・國分体制時のものです。私は燃える情熱と改革の精神と全力投球のエネルギーで取り組んで来ました。この厳しい状況下でも安定した財政運営をすることができました。今後、法人化などが話題に上がって来ますが、同じような精神で取り組み、発展させてほしいと思います。永年ご支援ご協力いただいたことに感謝申し上げます。



## 新年度を迎えて

理事長 外山 幸男

この4月から愛知陸協の事務局をお預かりして2ヵ月間になります。昨年度までは競技・情報処理委員会を担当し、大会要項、競技運営でご協力いただきました。14年の長きにわたり愛知陸協をリードしてこられ、今日の組織を確立し、財政基盤を作り上げられた國分副会長に深く感謝申し上げます。

愛知陸協理事の70歳定年にもかかわらず、2年間の延長をしていただき、大変な負担をおかけしました。

新年度の専門委員長には、競技・情報処理委員長を除いて20年度のメンバーに引き続きお願いしていますので、滞りなく運営できています。

去る5月29日の定時評議員会で、平成20年度の事業・決算が承認され、平成21年度の事業計画・予算書も承認されました。登録会員は14,852人、公認審判員が888人の大所帯の愛知陸協です。皆様方のご支援のもとで職務を遂行してまいりますので、よろしくお願ひします。

今年度のトラックシーズンはすでに国体選考強化・普及競技大会でスタートし、参加者が過去最多の5,000種目を超えました。9月19日から3日間、第30回記念国際・全日本マスターズ陸上競技大会が瑞穂で開催されます。主管する愛知陸協は全力で取組みます。

国体や都道府県対抗駅伝での県代表選手の活躍と本県の選手が、日本代表選手として一人でも多く、活躍することを期待しています。

登録会員の増加、公認審判員と出席審判員の増加、財源の安定確保といった課題にも取組んで行きたいと考えています。

大きな流れとしては、日本陸連からこの2年間を目途に各陸協の法人化の方針が出され、動き出しています。また東京マラソンの成功を受け、名古屋においても、多くの市民ランナーが参加できる大都市マラソンを検討する時期にも来ています。JAAFジュニア育成クリニック(U-18)として、1月に全国高校生陸上競技教室を実施します。具体的な内容は、追ってお知らせします。来年度、日本ジュニア・ユース選手権の瑞穂での開催が決定しています。開催県として多くの選手の出場と活躍を期待します。

## 支部報告

### 名古屋支部

支える力と若い力の躍動

3/7(土)知多市陸上競技場において写真判定装置関係の取り扱い説明会が行なわれた。これは、今年度、当競技場を使用する団体に対しての研修会で、知多市の体協と管理課の尽力により、当競技場開設以来、毎年この時期に開催されています。器具の適正な取り扱いと大会当日のトラブル防止のために有意義な研修です。ニシ・スポーツと管理担当の西尾氏及び関係各位の努力に感謝しています。当日は写真判定班とスターター班に分かれ、総勢約50名が



取扱い技術の向上のために熱心に受講しました。高価で大切な器具が、使用者全員の注意により、故障なく長く使用されていくことを願っています。また、知多地区の陸上競技大会運営に係わる関係者の地道な努力に敬意を表します。

21年度の大会スケジュールも順調にスタートしました。ここまでの競技会では、高校男子400m48秒台続出に目を見張るものがありました。中学・高校・一般の短距離陣のガンバリを核として、冬季の支部陸上教室(瑞穂・知多)や支部普及競技会(半田・知多)の参加者諸君の一層の活躍を期待しています。ぜひ全国大会へのキップをつかんでください。

#### 1 今後の予定(7~10月)

- ①7/18・19(土・日) 愛知選手権(瑞穂)
- ②8/22・23(土・日) 市民スポーツ祭(瑞穂)

- ③8/29(土) 第3回名古屋支部陸上記録会(知多)
  - ④9/26・10/3(土・土) 名古屋支部中学新人大会(知多・瑞穂)
  - ⑤10/17・18(土・日) 名古屋支部選手権(瑞穂)
  - 2 12/5(土) 愛知駅伝(愛知県市町村対抗駅伝)が愛・地球博記念公園で開催されます。それに向けて、名古屋支部内の関係市町選手諸君の奮闘を期待しています。
- (坂井田藤三)

### 尾張支部

21年度の活動について

平成21年度は、待望久しい愛知県一宮総合運動場陸上競技場の全面改修を経て、第1回尾張支部記録会で幕を開けました。記録会1日目4月4日(土)は、県主催の竣工記念行事の後、真新しい全天候トラックで気持ちも新たに、それぞれの立場で記念すべきスタートを切りました。私たち尾張に所属する競技者、審判員、役員、保護者の皆様が新しい時代の到来を体感できた瞬間でした。ここに各施設の写真を掲載します。



竣工記念式テープカット



体感走…小学生による走り初め



スタンド近景



写真判定室

なお、フィールドの芝の養生のため、上半期の競技会に関しては、一部知多の競技場をお借りしての競技運営になります。特に投てき3種目(やり、円盤、ハンマー)は8月末まで実施できません。9月以降は、全競技種目の開催

ができることを念じています。



100m スタート方向遠景



ゴール付近



走幅跳・三段跳ピット



役員室

4月現在競技場の施設、設備、各種備品関係の整備はまだ不十分です。今後、県関係及び競技場事務所との話し合いを進めながら、県内の他の競技場施設に負けない充実を目指していきます。関係の皆さんのご支援、ご理解をよろしくお願いいたします。

平成20年度尾張支部表彰関係のお知らせ

<表彰関係>

(1) 東海陸上競技協会会長表彰

對木 秀之 山田 孟司 井上 和孝

(2) 愛知県体育協会表彰 体育功労者(スポーツ振興)

佐藤 友行 近藤 弘

<平成21年度尾張支部新役員・新理事>

高槻 英徳(理事) 伊藤 勝則(理事)

堀内 貴之(会計)

平尾 淳(理事、施設資材専門委員会委員長)

長瀬 基延(中学校代表理事、施設資材専門委員会副委員長)

西浦 達郎(理事、選手強化専門委員会副委員長)

(原川 豪)

## 西三河支部

20年度も残り僅かとなった3月22日、大阪万博記念公園内特設コースで開催された第11回全国小学生クロスカントリーリレー大会で、愛知県代表として出場した岡崎JACチームが、見事準優勝の快挙を成し遂げたとの朗報が入った。

昨年夏の、中村明彦選手を中心とした岡崎城西高校チームの大活躍を始め、安城JAC男子チームが全国小学生陸上競技交流会4×100mリレーで優勝、師走の全国中学校駅伝には六ツ美北中学校が念願の3位入賞を果たすなど、小中学生から高校生までの若い世代の活躍が強く印象に残る1年であった。

さて今年度は、前年からの活動を継承する形で小学生友の会の活動を一層盛り上げ、組織的にも充実させていきたい。各地域で既に活動しているクラブやグループの実態を把握し、組織的な活動ができるように検討し、良い方策を見出していきたい。

中学校では、年度末の異動で部活動顧問が急きょ変更になることがしばしば起きる。この場合、後任の顧問が陸上競技に堪能な方ばかりとは限らず、中には全く初めて指導に携わる方も居られるのが現状である。こうした方たちを、いかに陸上競技の仲間に入れていくかが、その学校の陸上競技部の活動の維持につながっていくことになる。

支部が単独で指導技術の研修会等を計画する方法もある

## クラブ紹介⑨ YOUKI 陸上クラブ

半田市には、5つの中学校があり、それぞれの学校区に総合型地域スポーツクラブがあります。YOUKI 陸上クラブは、その中の1つ亀崎中学校区にあり、「スポーツクラブ YOUKI」に所属しています。YOUKIは、ユウキ(有亀)と読み、有脇地区と亀崎地区の2つの名前からできています。みなさんおぼえてください。

YOUKI 陸上クラブは、平成11年の「スポーツクラブ YOUKI」発足に伴い、活動を始めました。陸上競技の好きな人なら小学生から大人まで誰でも入会できます。走るのが好きになり、少しでも記録が伸びるように、また心身共に健康でいられるようにと明るく楽しい雰囲気作りを心がけています。

毎週日曜日の9時から12時まで、有脇小学校のグラウンドで、少年野球チームと共用で練習をしています。雨天の時は、体育館で行います。昨年からは、水曜日の午後7時から9時まで、近くの州の崎グラウンドで練習ができるようになりました。また、各種の陸上教室(県陸協・半田市)や強化練習会にも参加しています。

クラブ員は、他地区からの参加も含めて、現在45人の小中学生と10人の一般会員がいます。

練習内容は、グラウンドが狭いため、全員一緒に腿あげ・スキップ・股関節回し等の基本動作や、ラダー・特製手作りハードル(ビニールパイプ製)を使ってリズム感を養うなど、走りを中心とした練習をしています。低学年、高学年、中学生と分かれて走幅跳、ハードル等専門種目も行ないます。中でも全員参加のハンディー付坂道ダッシュや大縄跳び・対抗エンドレスリレーは、みんなが燃える練習の1つです。しかし、予算や施設の関係から、ボール投や走高跳などは練習が思うようにできません。

毎回当番制で保護者の方に、道具の準備や子ども達の世話を手伝ってもらっていますが、時々一緒に練習してくれる方もあります。そんな時の子ども達は、親に負けないようにいつも以上に張り切って練習をします。

また、練習の一環として各種の大会に参加しています。目標を持って練習し、ルールやマナーを学び、自分やチームメイトの成績に歓声をあげ、記録がのびる喜びや勝つ喜びを味わってほしいと思っています。昨年と一昨年の県小学生選手権で優勝者を出し、各種の大会でも優勝・入賞しています。大会・記録会での賞状が、何よりの刺激となります。半田市体育大会(通称半田祭)やファミリー駅伝には、一般会員及び親子で参加しています。半田祭では、昨年一般の部で男女とも優勝することができ、子どもたちの刺激となり、羨ましがられました。

スポーツの基本となる陸上競技を、YOUKI 陸上クラブで体験し、陸上競技の好きな子ども、スポーツの好きな子どもとして巣立って行ってほしいと願っています。

(八田 定丸)



集合写真



坂を利用した練習風景



グラウンドでの練習風景

が、中小体連西三河支部と連携しながら、年度内に1~2回の開催を目指したい。

#### ☆平成21年度西三河支部行事予定(7月以降)

7/22・23 西三河中学選手権 安城  
9/5・6 高校新人西三河予選 刈谷  
10/10 西三河中学新人 岡崎  
10/11・12 西三河選手権 刈谷  
10/31 西三河中学駅伝 岡崎

(山内 満)

### 東三河支部

平成21年度は、支部にとって変革の年といえるでしょう。永年、当支部長としてご尽力された牧田功氏が、陸協の定年制度により平成20年度をもってご勇退され、夏目輝久が新支部長として就任いたしました。

牧田前支部長におかれましては、東三河支部のみならず愛知陸上競技協会主催の各種競技大会運営を始めとして、重要な役職を歴任され、その責務を立派に果たしてこられました。ここに、その業績に対して敬意を表すると共に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今年度は、下記の新役員でスタートいたしました。なお、私どもの勝手なお願いではありますが牧田前支部長には、今後とも支部発展のためにご支援をお願いいたします。

#### 平成21・22年度役員

支部長	夏目 輝久			
理事長	兵藤 重二			
副理事長	仲井 雅弘			
理事	小・中・高・一般・地区代表・女性の各理事を選出			
会計	白井 忠彦			
秘書	中西 征裕・白井 忠彦・山本 誠司			
専門委員長	総務	山本 誠司	競技	市川 工
	審判	山本 法史	記録	鈴木 信弘
	施設	中村 昭広	強化	伊藤 博之
	マスターズ	杉山 成生		

(平成21年1月11日 支部理事会選出)

本年は、豊橋陸上競技場の第三種公認検定の更新前年に当たります。皆様方の貴重なご意見が少しでも反映できるように資料等を整えて、来るべき平成22年度の競技場検定の際に、少しでも大規模な改修に持っていきたいと思っております。また、伝統ある中日日比野マラソン大会が平成20年度をもって廃止となりましたが、ハーフマラソンは引き続き実施して参ります。つきましては、新理事長としてより良い競技会にするべく、役員の方々と協力してその実現に向かって努力して参ります。関係各位のご支援をよろしくお願いいたします。

平成21年度は、4月11日(土)12日(日)の第35回豊橋リレーカーニバル大会兼東三河陸上競技記録会でスタートを切りました。関係各位には、各種大会の円滑な運営ができますよう競技役員としての出席をお願いします。また、陸上競技を通して、健全な青少年育成を第一にお考えいただき、更に選手強化・陸上界の底辺拡大にご尽力いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

#### 主な日程(主催・共催)

回数	大会名	月日	場所
1	豊橋リレーカーニバル兼東三記録会	4/11・12	豊橋
2	全三河長距離クラス別記録会	4/18	豊橋
4	東三河小中学校記録会	4/26	豊橋

3	県高校総体東三予選	5/2・3	豊橋
5	東三河中学校春季大会	5/23	豊橋
6	愛知県選手権兼国体東三予選	6/6・7	豊橋
7	全日中通信東三予選	6/13	豊橋
8	東三河小学生リレー競走大会	7/4・5	豊橋
9	東三河高校1年生大会兼ジュニア記録会	7/20	豊橋
10	東三河中学校総合体育大会	7/11	豊橋
11	東三河中学ジュニア陸上競技大会	8/1	豊橋
12	豊橋市民陸上競技選手権大会	8/2	豊橋
13	県高校新人東三予選	9/5・6	豊橋
14	駅伝強化豊橋長距離記録会	9/19	豊橋
15	東三河小学生選手権大会	9/20	豊橋
16	東三河中学校新人陸上競技大会	10/3	豊橋
17	東三河陸上競技選手権大会	10/4	豊橋
18	東三河短距離記録会	11/3	豊橋
19	豊橋みなとシティマラソン	11/8	豊橋
20	愛知県小学生長距離走競技会	12/19	豊橋
21	渥美半島駅伝競走大会	12/20	渥美半島
22	豊橋トリムマラソン	2/11	高師緑地
23	中日豊橋ハーフマラソン	3/7	豊橋

(夏目 輝久)

## 専門委員会報告

### 競技・情報処理委員会



本年度から競技情報委員会委員長となりました石鎚一則と申します。不慣れな面が多く戸惑うことばかりですが、円滑な競技運営のために努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

平成21年度は、9月19日~21日に全日本マスターズ陸上競技大会を開催します。さらに次年度には日本ジュニア選手権大会・日本ユース選手権大会、また東海高等学校体育大会が控えています。これら大きな大会を運営していくためには、各審判員の方々にできるだけ多くの競技会に出席し、競技運営力・競技審判技術の向上に努めていただきたいと思います。昨年は、瑞穂競技場に走幅跳・三段跳の自動計測装置が導入されました。これら最新の計測機器をはじめ従来からの光波測定器やマグサインなどの機器も積極的に使い、競技者・観客にとってわかりやすい競技運営をしていきたいと思っております。

今年度は、競技会への参加申込の電子化を進めていく予定です。現在は、申込書をもとに、愛知陸協にある登録のデータベースから抽出したり、打ち込んだりしてプログラムデータを作成しています。しかし、打ち込み作業の中で氏名の漢字や読み間違いを避けることが難しく、多くの時間をとられている現状です。間違ったプログラムデータをなくし、効率的にデータ作成をするために、申込の電子化が必要です。当面は、従来の申込の形式との併用での実施を計画しております。どの競技会から実施するかは、検討の上ホームページなどでお知らせしたいと思います。ご理解のうえご協力をお願いいたします。(石鎚 一則)

### 施設・用器具委員会

県陸協待望の全天候型陸上競技場が尾張地区に完成したことは、当委員会としても大きな話題である。

尾張地区にはこれまで全天候型の競技場がなく、雨天の

## 名岐駅伝いまむかし⑧

第12回大会(昭和17年) - 「一般」14・「中等」20 参加 -  
太平洋戦争下での大会<名走友俱 五連覇 西尾蚕糸 初制覇>

昭和16年12月8日「太平洋戦争」が開戦し、連日新聞紙上等で戦況が報道されるなか、本大会には34チーム参加で接戦が展開された。

一般の部では、三菱航空が2区まで首位をキープしたが、最長区間の3区で名走友俱がトップに立つ。復路の4区では野村の区間記録の好走もあり2位との差を5分引き離す、そして1936年のベルリンオリンピックの5000mと10000mで北欧勢の強豪に伍して最後まで優勝争いを繰り広げて4位に入賞した村社(5区)(写真A)や戸田(6区)が区間記録を出した全川崎の猛追を退けて4.31.40で五連覇(柴垣、村瀬、藤本、瀬尾、野村、青木)を果たす。遠路初参加の全川崎(神戸)は6区間のうち4区間の区間記録を出すも1区走者のブレーキが最後まで影響し2位に終わる。



写真A  
標を渡す村社選手

中等の部では、2区まで愛知一師が豊橋二中、名古屋三商、名古屋商等の追走をかわして首位を死守したが、3区に入って区間記録の名古屋三商(河端)がトップに立つも5区で西尾蚕糸の李の区間記録の快走で50m差まで追い上げられ、6区に入って間もなく西尾蚕糸(羽向、齋藤、藤井、杉浦、李、石川)が首位を奪い4.47.09で念願の初優勝を飾る。

なお、大会主催社の新愛知は、9月1日名古屋新聞と合併し「中部日本新聞社」を設立。

2位以下の結果は次のようである(4位以下は愛知県のみ記載、以下同じ)

- (一般) ②全川崎 4.35.30、③岐阜高農 4.35.50、④三菱航空、⑤愛知時計、⑦三菱電動、⑧瀬戸陸協、⑨名鉄工場、⑩蟹江会、⑪三菱正風俱、⑫日本車輛  
(中等) ②名古屋三商 4.47.58、③中津商 4.48.30、④豊橋二中、⑤中京商、⑥名古屋二商、⑦愛知一師、⑨愛知商、⑩東邦商、⑪成章中、⑫半田中、⑬愛知一中、⑮名古屋商、⑯瀧実業、⑰機械専修、⑱東海中、⑲惟信中、⑳享栄商

第13回大会(昭和18年) - 「一般」16・「中等」28 参加 -  
戦前最後の大会<名走友俱 六連覇の偉業 中京商 念願の初優勝>

両部併せて参加チームが44となり、「中等」のスタート時間を「一般」の10分後にずらして行われた。

一般の部では、第1区で名走友俱がリードしたが、2区に入って三菱航空長島が力走して逆転し名走友俱に約20mの差をつけてトップに立つ。しかし、3区に入って名走友俱(安井\*、村瀬、野村、青木、今井、柴垣)が区間記録の好走で首位を奪還して2位以下を大きく引き離し、4・6区走者の区間記録もあってそのまま首位をキープし連続13回出場のアンカー柴垣が4.28.21で六連覇のテープを切る(写真B)。中等の部では、成章の花井が1区で一般を上回る区間記録の好走もあって第4区中継所寸前までトップをキープしたが、折り返し地点の岐阜県庁前では区間記録の力走を見せた岐阜商(杉山)に抜かれて首位を譲る。復路でも各校入り乱れての接戦が展開されたが、4区の本曾川橋上で200m余離されていた中京商(伊藤、長瀬、坂上、浅井、小林、木全)が区間記録で首位に立ち、5、6区走者が区間記録を出した中津商をはじめ、上野中、愛知一師、岐阜商、成章中等の猛追を振り切り4.40.15で念願の初優勝を遂げる(写真C)。



写真B  
六連覇の名走友俱  
アンカー柴垣選手

なお、一般の福江体育俱は中途棄権。

2位以下の結果は次のようである。

- (一般) ②三菱航空 4.34.22、③岐阜高農 4.38.48、④三菱発動、⑤名鉄局工機部、⑥三菱正風俱、⑧愛知時計、⑩名古屋高工、⑬東海電極、⑭瀬戸陸協、⑮真宗専門学校  
(中等) ②中津商 4.41.00、③上野中 4.41.22、④愛知一師、⑥成章中、⑦西尾実業(旧西尾蚕糸)、⑧豊橋二中、⑩熱田中、⑪名古屋二商、⑬小牧中、⑭名古屋商、⑮名古屋三商、⑰瀧実業、⑱愛知商、⑲東邦商、⑳挙母中、㉑名古屋航空工、㉒一宮中、㉓東海中、㉔名古屋機械専修、㉕中川中、㉖愛知工、㉗中央商業実践



写真C  
初優勝の中京商  
アンカー木全選手

\*1区の区間記録賞は長坂始とあるが、レース経緯及び優勝メンバーには安井となっているので後記を記載

(西垣 完彦)

場合には悲惨とも言える劣悪なグラウンドコンディションのもとでの競技会を選手も審判員も強いられていた。全天候での練習場所を求めて、瑞穂、知多、岐阜、桑名まで足を運ぶこともあった。尾張地区の陸上関係者にとっては、全天候型の競技場が長年の念願であった。その競技場が遂に念願になって完成し、4月4日(土)にオープニングの

セレモニーを催すことができた。感激もひとしおである。しかし、現在のところ、手放しで感激にひたるわけにもいかない不足の面がある。競技場自体はトラックからスタンドまでのスペースも広く、申し分のないものであるが、我々施設器具の立場から見れば、他の同レベルの競技場と比較して、まだまだ充実しているとは言えない。予算の

関係上、いたしかたのない面もあるが、以前の競技場で使用していた旧式のもので使用可能なものをそのまま使用している。また、写真判定室と記録室をつなぐランケープルのように電気計時に必要なもので設置されていないものもある。

不足分を列挙してみると、  
 円盤・ハンマー投用のネット——旧規格のものなので、新規格のものに移行する必要がある  
 スタート発信装置——設置されていない  
 走幅跳・三段跳の距離測定器——購入されていない  
 スタートブロック——固定するピンが短く、強い力で押すとズレてしまう  
 投てき用具——砲丸、円盤、やり、ハンマーの全てにわたって数が不足している  
 ハードル・ハードル運搬車——老朽化している  
 上記の他にも一つ、大きな問題が残っている。現在のところ、まだ芝生が養生期間にあり、砲丸投を除く投てき競技が実施できない。そのため、本格的な使用は、今シーズンの秋以降の予定である。  
 現在のところ、まだまだいくつかの問題が残っているが、今後は尾張地区の中核的な陸上競技場として、選手が競技しやすく記録の出やすい、より良い競技場にレベルを高めたい。  
 (松井 祐二)

## 審判委員会

平成 21 年度も競技会が始まり、全国大会への予選会も県大会、東海大会へと進んでいる最中です。審判員の方々には、競技会の審判業務にご協力いただき感謝しています。  
 平成 21 年度は、全国大会としてマスターズ陸上が 9 月に控えています。記念大会になるため、外国の競技者も若干名参加を予定しています。愛知陸協も全力を挙げて本番に備えていきます。また、愛知マスターズの方々には、大会の中心的存在として大いに盛り上げていただきたいと思ひます。

平成 21 年度は新たに 45 名の方が公認審判員の仲間入りをしました。また、今年度の第 1 回 B 級公認審判員取得講習会を中京大学で行い 33 名が合格をしました。これから実習を行う予定です。若い力を育てていきたいと思ひます。ともにご指導よろしくお願ひします。なお、第 2 回 B 級公認審判員取得講習会を 11 月 8 日に日本ガイシアリーナで行なう予定です。多くの方が受講するように、案内、お知らせをお願ひします。教え子、同僚などに大いに勧めてください。

平成 22 年度にも、ジュニアユースの全国大会があります。普段の競技会から全国大会を意識した審判業務を心がけるようお願ひします。

全国大会に向けて普段から審判の服装に気をつけていただき、よりよい競技会になるようお願ひします。

最後に、毎回お願ひをしていますが、審判調査はがきを必ず返信くださるよう重ねてお願ひします。

(榊原 茂)

## 選手強化委員会

平成 21 年度強化委員会は例年通り、派遣、合宿、教室・練習会、指導者養成の 4 つの部門行事を予定しています。

<派遣>

国民体育大会(新潟県) 10月2日(金)～6日(火)

ジュニアオリンピック(横浜)10月23日(金)～25日(日)  
 スーパーレディース駅伝(福井県)11月14日(土)・15日(日)  
 都道府県女子駅伝(京都府)平成22年1月14日(木)～17日(日)  
 都道府県男子駅伝(広島県)平成22年1月22日(金)～25日(月)

<代表、代表候補合宿・練習会>

第1回国体選手合宿(半田) 8月25日(火)・26日(水)  
 第2回国体選手合宿(瑞穂北)9月21日(月)・22日(火)  
 第1回都道府県駅伝合宿(長野県富士見)

8月25日(火)～28日(金)

第2回都道府県駅伝合宿(瑞穂北)  
 12月24日(木)～27日(日)

第3回都道府県駅伝合宿(瑞穂北)  
 1月9日(土)・10日(日)

第1回国体候補投擲合宿(知多)  
 12月12日(土)・13日(日)

第2回国体候補投擲練習(知多) 1月16日(土)

第3回国体候補投擲練習(中京大) 1月31日(日)

第1回国体候補棒高跳合宿(中京大)  
 12月23日(水)～26日(土)

第2回国体候補棒高跳合宿(中京大)  
 3月20日(土)～23日(火)

第1回国体候補短・跳・障・競歩合宿(半田・美浜)  
 12月24日(木)～26日(土)

第2回国体候補短・跳・障・競歩練習(知多)1月16日(土)

第3回国体候補短・跳・障・競歩練習(刈谷)2月13日(土)

第4回国体候補短・跳・障・競歩練習(刈谷)3月6日(土)

<陸上競技教室・練習会>

競歩教室:4月4日、5月9日、6月6日、7月4日、8月8日、9月5日、10月17日、11月14日、3月13日<土曜日開催>(瑞穂運動公園内)

陸上競技教室:各支部会場

<指導者養成>

C級コーチ取得派遣

丹羽智行(香流中)、加藤良寛(名経大高蔵高)

(北村 肇)

## 記録委員会

4月から平成21年度のトラック&フィールドがスタートし、記録整理に忙しい時期になりました。また、日本陸連への記録公認申請も、各支部の記録委員長始め担当者の協力により順調にスタートしました。

国体選考強化普及競技会(瑞穂)では、国体Bクラス競技者が、200mで19年ぶりに県中学記録を塗り替え、また、高校総体名古屋南支部予選会では、女子やり投で1年生が県高校新記録を樹立、中学女子棒高跳で県中学新記録を樹立。昨年樹立した県記録2種目、県高校記録5種目、県中学記録4種目を上まわることを期待しています。

県外の競技会に年間のべ500～600人の競技者が、愛知陸協から出場認知を受けて出場していますが、結果の報告のない競技者が多くいます。大会終了後速やかに報告してください。記録委員会としても報告書に基づいて競技会のHP等で確認をしていますが、記録によっては記録証明書のコピーあるいはリザルトの添付があると大変助かります。

日本陸連では、小学生の登録について研究中です。近い将来結論が出ると思ひます。愛知では小学生陸上競技大会は、競技会コードを付して公認競技会として位置づけています。記録公認として申請のない競技会が多々あります。

## 学校紹介④ 中京大学附属中京高校 陸上競技カランキング〔高校編〕全国9位



ハードルドリル

一つめは、選手の動きの中に見られたものです。よく「練習は試合のように、試合は練習のように」と言われますが、中京大中京高校の練習はまさに「練習は試合のように」でした。 unnecessary 私語が全くない集中度の高さは、見ている側も背筋が伸びるような思いでした。練習は何か特殊なものがあるというよりは、基礎基本を重視しているように見受けられましたが、選手一人ひとりが、その意味をよく理解しているようでした。ドリルとしてハードルまたぎを繰り返していたのですが、ビデオカメラを持参していれば彼らの動きをテープに収めて自分の学校に持ち帰れたのにと残念な思いをしました。臀部の筋肉を有効に動かし上半身と連動させた脚の引き上げやリズムカルな動きは、一見の価値があります。練習中に北村先生は細かく指示を出されておられませんでした。北村先生によれば、練習は一週間分のメニューを渡しており、その際にポイントをしっかり話しているとのこと。選手が先生の意図をしっかりと理解しているからこそ、細かな指示は必要ないのでしょう。北村先生は間違った動きの時は口を出すとおっしゃっていましたが、この日の練習では一度だけでした。選手の側ではもう一つ、マネージャーの不在を挙げておくことができると思います。80名ほどの部員がいるにもかかわらず、部にはマネージャーはいないとのこと。スタートダッシュの様子を見ておきますと、スターター、タイム取りと役割を交代しながら練習を行っていました。選手どうしの連携が、競技力を向上させるうえで大きな力になっていると思われました。



北村先生(左)に取材

ここではウエイトトレーニングができますし、雨の日の練習(基本的には雨でも練習するのだそうです)の後にシャワールームを使うことができ、風邪をひく心配もないそうです。また、グラウンド近くの興正寺の敷地が、絶好の練習環境を提供してくれています。短距離陣には坂ダッシュ(100m)、長距離陣にはクロスカントリー(1.5km)の、すばらしい練習会場となっているのです。都会の真ん中にある学校には、極めてまれな練習環境と言っていいいでしょう。もう一つ、長距離陣については、グラウンドの西隣にある寮について触れておかなければなりません。基本的に長距離選手は寮で生活することになっており、現在女子が15名、男子が6名生活して、長距離担当の小田先生と一緒に生活しておられます。寮とグラウンドが隣接しているため、無駄な時間をとることなく50分ほどの早朝練習を行なうことができるのは利点ですが、男子の比率が40%ほどとなった今では、男子の長距離選手を集めるのが難しくなった(寮には男子が12人入れるのに今は半分だけ)ことが悩みとなってしまったそうです。



マッサージを受ける選手

中京大中京高校は学校紹介の企画が始まって3校めの高校です。前の2校同様部員の皆さんからきちっとした挨拶で出迎えていただきました。すれ違うような時には誰もが一度足を止めて挨拶をしてくれましたので、こちらも足を止めて挨拶をするということは何度も繰り返すこととなりました。強い学校というのは、やはり、競技力だけではないのです。いや、昨シーズンの成績が「陸上競技マガジン」の「陸上競技ランキング」で全国9位に入ったのも、こうしたきちっとした姿勢が競技力を向上させているからでしょう。この他にいくつも強さを支えているものを取材することができましたので、ご報告します。



ミニハードルを使って

二つめには、施設面のことが挙げられます。練習会場は中京大学八事校舎のグラウンドで、全天候型300m3レーンのトラックです。北村先生によれば、土のグラウンドと全天候型のグラウンドでは技術的に違いがあるので、土のグラウンドでは走らせないとのこと。試合の時と同じ環境で毎日練習できることは、一つの強みです。脚への負担が気になる場所ですが、木曜日を軽い練習の日として練習に強弱をつけることや練習前の念入りのストレッチ体操で、負担は軽減されているようです。グラウンドにはフィットネスセンターが隣接しており、この施設も自由に使えるそうです。こ



小田先生(右)に取材

三つめに、外部との連携があります。一つは、ヒューマンアカデミー専門学校との連携です。毎週金曜日に、トレーナーの卯たちが5名ほど講師の先生の引率のもとにグラウンドを訪れ、選手たちを相手にマッサージなどの実習を行っています。故障を抱えた選手はこの時に診断してもらうことができ、治療してもらうこともできます。取材に訪れたのがたまたま週一回のその日にあたっていたため、右膝の外側に違和感がある選手が診断を受け、治療を施してもらっている場面を目にしました。二つめは、鍼灸師の来校です。卒業生の中に鍼灸師がいて、毎週一回グラウンドに来てもらっているのです。三つめに、栄養士(女性)の指導があります。週に一回訪れる栄養士に栄養面の指導を受けたり、特に女子についてはメンタル面の相談も受けられているのだそうです。

強さの裏には、それを支えるものがあるものです。長年愛知の陸上競技を引っ張ってきた中京大中京高校にも、強さを支えるものがありました。取材を終えた今、中京大中京高校が今季、更にランキングを押し上げる活躍をするものとの意を強くしております。

(取材・文責 大西 敏功)

小学生のランキングも作成していますので、各支部小学生担当者の方は必ず記録委員会まで報告してください。公認記録申請ができなくて困っています。

5月24日現在、確認した県記録

県高校記録

女子やり投 47m15 高塚 裕子 (名城大附)  
 高校総体名古屋南支部予選会 (瑞穂) 5月4日

県中学記録

男子200m 22秒09 河室 裕貴 (弥富)  
 国体選手選考強化普及 (瑞穂) 4月19日  
 女子棒高跳 2m90 松下 琴子 (千種)  
 国体選手選考春季選抜 (瑞穂) 4月19日  
 (岡田 武彦)

女性委員会

1 委員会名簿

番号	氏名	支部	番号	氏名	支部
1	委員長 脇田 千鶴	西	9	委員 外山あゆみ	名
2	副委員長 石田美知枝	西	10	委員 大久保真理子	名
3	副委員長 谷寄 好美	尾	11	委員 本間 順子	西
4	委員 外山みな子	名	12	委員 渡辺 尚巳	西
5	委員 澤木三枝子	尾	13	委員 渋谷 直子	西
6	委員 舟木 香織	名	14	委員 白井 公子	東
7	委員 佐藤 悦子	東	15	委員 谷川 裕子	尾
8	委員 山下ゆかり	名			

2 活動内容

期日・日程	内容	具体的な内容
5月	第1回会議	委員会メンバーと活動内容について他
9月	第2回会議	愛知レディース陸上の反省と全国会議の報告他
1月	第3回会議	名古屋国際女子マラソンについて他
数回	中女大レディース陸上大会	女性審判員の勧誘と養成
7月	愛知レディース陸上競技大会	<大会運営> 申し込み受付 データ打ち込み プログラム編成 審判員の確保 競技者の確保 大会当日運営 (団体受付・開門等)
10月	国体	女性担当コーチ派遣
3月	名古屋国際女子マラソン	女性審判員の確保と第一点呼等の作業他
	陸連関係	女性委員会 会議出席 (定例・全国会議)

3 第6回愛知レディース陸上競技大会について

昨年の第26回レディース陸上競技大会 (全国大会) は、大変多くの参加者を集めて、盛況に開催することができました。これにより、普及を目的としたレディース陸上競技大会の必要性を強く感じました。



今年度の愛知レディース陸上競技大会は、種目数を増やし、より多くの競技者に参加していただきたいと思っています。

第5回大会までの反省や皆さんからいただいたご要望を踏まえて、200m・800m・棒高跳の新種目を加え、2日間 (県混成・県リレー大会と同日) で開催いたします。女性審判員の皆さんには、第26回レディース陸上競技大会で

の経験を生かし、ステップアップを図る機会にさせていただきたいと思っています。(脇田 千鶴)

年誌資料・広報委員会

「創刊号」から3年目を迎えた。皆さん方のご支援ご協力により昨年度までに13号を発刊することができました。当委員会としては、今年度も下記のとおり年4回の広報紙の発刊を予定している。

次の点に配慮し、情報提供しようと考えている。

- ◎できるだけ多くの情報を掲載し、紙面の充実をめぐる
- ◎読みやすくするために、レイアウトを工夫する
- ◎身近な情報誌としての役割を果たすために、多くの方からの意見を聞く

「愛知陸協広報」14～17号編集計画 (案)

号数	発行月	編集内容
「愛知陸協広報」14号	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長及び理事長のことば</li> <li>・専門委員会報告及び今年度の活動方針</li> <li>・4支部の活動状況及び今年度の活動方針</li> <li>・関係団体の活動状況</li> <li>・競技会報告 (国体選考、東海学生、県高校総体等)</li> <li>・平成21・22年度愛知陸協役員・理事会等会議報告</li> <li>・愛知陸協20年度収支決算報告</li> <li>・慶弔報告</li> <li>・連載「ホープさん」⑧</li> <li>「名岐駅伝いまむかし」⑧</li> <li>「クラブ紹介」⑨「学校紹介」④</li> </ul>
「愛知陸協広報」15号	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長のことば</li> <li>・専門委員会報告</li> <li>・4支部の活動状況</li> <li>・関係団体の活動状況</li> <li>・競技会報告 (県高校定通、東海高校総体、中京女子大レディース、東海地区国立、県・東海混成、小学生リレー、愛知レディース、愛知選手権、県中学通信・総体、県ジュニア、東海マスターズ等)</li> <li>・理事会等会議報告</li> <li>・競技会参戦及び観戦記 (全国高校総体、全日中他)</li> <li>・慶弔報告 (協会会長表彰他)</li> <li>・連載「ホープさん」⑨</li> <li>「名岐駅伝いまむかし」⑨</li> <li>「クラブ紹介」⑩「学校紹介」⑤</li> </ul>
「愛知陸協広報」16号	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長のことば</li> <li>・専門委員会報告</li> <li>・4支部の活動状況</li> <li>・関係団体の活動状況</li> <li>・競技会報告 (県高校新人、国体、愛知ジャンプ、県小学生、全日本マスターズ、県高校・中学駅伝、市町村駅伝等)</li> <li>・理事会等会議報告</li> <li>・競技会参戦及び観戦記 (国体、全日本実業団、全日本大学駅伝他)</li> <li>・慶弔報告 (秩父宮章他)</li> <li>・連載「ホープさん」⑩</li> <li>「名岐駅伝いまむかし」⑩</li> <li>「クラブ紹介」⑪「学校紹介」⑥</li> </ul>



「愛知陸協広報」 17号	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長のことば</li> <li>・専門委員会報告</li> <li>・4支部の活動報告</li> <li>・関係団体の活動報告</li> <li>・競技会報告（駅伝関係犬、犬山ハーフマラソン、名古屋国際女子マラソン等）</li> <li>・理事会等会議報告</li> <li>・競技会参戦及び観戦記（駅伝関係＜全国高校、都道府県・マラソン他）</li> <li>・慶弔報告（県体協他）</li> <li>・連載「ホープさん」⑩</li> <li>「名岐駅伝いまむかし」⑪</li> <li>「クラブ紹介」⑫「学校紹介」⑦</li> </ul>
-----------------	---	--

(外山 修)

「愛知ここにあり！」を全国にアピールするべく、中小体連一丸となって競技力向上と、底辺拡大に取り組んでいきたいと考えております。また、競技運営面では、愛知陸協の皆様の強力なバックアップが得られるよう、あらゆる面で努力を惜しまない所存です。何とぞよろしくお願いします。

**本年度の主要な大会（主な県大会以上の大会予定）**

愛知県混成競技大会	7月4（土）・5日（日）	瑞穂
愛知県中学選抜混成大会	7月11日（土）	瑞穂
全日本中学校通信陸上競技愛知県大会	7月20日（月）	瑞穂
愛知県中学校総合体育大会陸上競技大会	7月30日（木）	瑞穂
東海中学校総合体育大会陸上競技大会	8月11日（火）	岐阜
全日本中学校陸上競技選手権大会	8月22（土）～24日（月）	大分
愛知県ジュニアオリンピック陸上競技大会	8月30日（日）	瑞穂
ジュニアオリンピック陸上競技大会	10月23（金）～25日（日）	横浜
愛知県中学校駅伝大会	11月14日（土）	愛・地球博記念公園
全日本中学校駅伝大会	12月19日（土）	山口

(久米 裕朗)

**関係団体報告**

**小学生友の会**

小学生友の会の活動

**1 “日清食品カップ” 第11回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会の成績（大阪・万博記念公園特設コース）**

平成21年3月22日（日）参加50チーム

チームは、男子・女子各4人の8人編成。6人がリレー大会、2人が友好レース（個人1人1.5km）に出場した。

大会は、アップダウンの激しい1人1.5kmの周回コースを6周して争われた。

岡崎 JAC 第2位 9km 31分02秒

監督 森下義郎 コーチ 中根精司

- 第1区 中根 千秋 区間4位
- 第2区 稲葉 康太 区間1位
- 第3区 山本 美沙 区間4位
- 第4区 山本 周作 区間5位
- 第5区 諸富 愛奈 区間5位
- 第6区 長谷川大祐 区間2位
- 友好レース 柴田 玲菜 女子6位
- 木村 颯 男子9位

愛知県代表チームの過去の成績

17年 田原陸上教室	第9位
18年 田原陸上	第8位
19年 田原陸上	第8位
20年 岡崎 JAC	第10位

**2 平成21年度の活動予定**

- (1) 8月2～4日（日～火）全国小学生陸上競技指導者中央研修会 広島会場  
8月8～10日（土～月）同上 埼玉会場
- (2) 8月28・29日（金・土）“日清食品カップ”全国小学生陸上競技交流会 日産スタジアム
- (3) 8月30日（日）東海小学生リレー競走大会 長良川
- (4) 11月3日（祝）愛知県小学生陸上競技選手権大会 瑞穂
- (5) 12月19日（土）愛知県小学生長距離走記録会 豊橋
- (6) 2月 小学生クラブチーム指導者実技研修会
- (7) 3月20・21日（土・日）“日清食品カップ”第12回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会 大阪・万博記念公園

(大矢 新吾・村上 勲治)

**中小体連**

本年度より中小体連陸上競技部の副部長を任せられました久米裕朗といます。よろしく申し上げます。ご存じの方も多いかと思いますが、平成25年に愛知で全日本中学校陸上競技選手権大会が開催される予定です。競技面では、

**高体連**

○今年の県高校総体は、新型インフルエンザの影響で開催が危ぶまれましたが、幸い県内で感染者が現れることなく、無事終了することができました。また、そんな中で比較的天候にも恵まれ、大会新も多く出ました。

結果につきましては、別添の記録表及び県高体連のホームページをご覧ください。

○今年度の東海高校総体は、6月19日（金）～21日（日）の3日間、三重県伊勢市で行なわれました。全国高校総体での活躍が期待されます。ご声援よろしく申し上げます。

○全国高校総体は、7月29日（水）～8月2日（日）の5日間、奈良市の鴻池陸上競技場で開催されます。今年も猛暑が予想されますが、愛知県の選手はこの猛暑に負けず、熱戦を繰り広げてくれることと期待しております。また、今年は比較的近い場所で開催されますので、ぜひ、多くの方に現地に足を運んでいただき、応援をお願いいたします。

なお、東海高校総体や全国高校総体のスタートリスト・結果については、それぞれ、三重県高体連・全国高体連のホームページに掲載されますのでご活用ください。

(大島 修)

**高体連定通部**

「今年度の活動について」

働きながら学び、寸暇を惜しんで好きな陸上に取り組む生徒のために設けられた定通制高校の大会も、今年で60回を数える。現在のように立派な施設や用具がないなかで、陸上を愛し、取り組まれた先輩諸氏には頭が下がる思いである。現在、参加選手数は100名程になっているが、陸上に対する熱い気持ちは全盛期と変わらず続いている。

6月14日（日）知多市運動公園陸上競技場で、県大会兼全国大会出場者選考会が行われた。ここで全国大会出場者が決まり、県選手団として一つのチームになった。リレーも選抜メンバーである。強化練習会は7月下旬にウェーブスタジアム刈谷で行ない、バトン練習、チームのまとまりなどを図っていく。

全国大会は8月14（金）～16日（日）の3日間、東京の国立競技場で行われる。44回を数えるこの大会も東京オリンピックの開催が決まると、国立競技場で開催できる最後の大会になるのではないかと関係者は危惧している。

# ホープさん⑧

## 谷 優奈さん (保見中3年)

彼女が陸上競技を本格的に始めたのは小学校5年生であった。小学校の6年生で出した80mHの県記録は、今も破られていない。中学でバスケットボールをやるか陸上競技をやるか迷ったが、父親の勧めもあり、最終的にハードル競技に挑戦していくことを決意する。

そして中1で臨んだはじめての全国の舞台、ジュニアオリンピック。しかし大会直前に捻挫してしまい、力を出し切れずに涙をのむことになった。

中2の夏、県大会でついに標準記録を突破し、あこがれの全中への出場を決めた。初めての全国大会であったが、なぜか緊張はしなかったという。しかし、思うような走りができず、111人中38位のタイムで予選敗退し、悔し泣きをした。全国という晴れ舞台ではじめて味わったこの悔しさをバネに、彼女は精神的にも大きく成長し、つらい練習にも前向きに取り組むようになった。そして、今年こそ表彰台に上がりたいと意気込んで臨んだ2回目のジュニアオリンピック。決勝は100分の3秒差で3位入賞。夢に見た表彰台に上がることができた。

谷優奈の魅力は、何といても彼女の人柄である。競技に集中しているときはアスリートとしてのオーラを放っている彼女も、普段は名前の通りとてもほのぼのとした優しい人柄である。だれにでも優しく接することができる彼女は、たくさんの友達や陸上部の後輩たちに慕われている。東海大会で夕食をとる場所を探しているとき「あ、谷さん！」と何人かの選手に声をかけられた。「だれ？」と聞くと「わかんない…」と彼女は笑うのだが、他の中学校の選手ともいつの間にか仲良くなっているのだから。

これまで熱心に指導してくださった顧問の森和則先生が今年度転勤してしまったこと、陸上部の女子部員10人(新入部員も含めて)のうち、3年生は彼女一人だけであることなど、不安に感じていることはいくつもあると思うが、今はキャプテンとして、部員一人一人がレベルアップできるように練習メニューを考え、みんなを引っ張っている。

最後の夏、目指すのはハードルの県記録更新、そして全国大会での頂点。日本を代表する十種競技の選手であったお父さんと、大学時代まで走幅跳の選手であったお母さんを両親に持つ彼女のDNAや、何でも吸収していこうとする素直で明るい人柄に、彼女の無限の可能性を感じる。これからも、たくさんの人に応援される素敵なアスリートになってほしいと願っている。(顧問 杉本 容哉)



後輩たちとともに(谷選手前列中央)

今年の春先には満足できるタイムが出せず、とても落ち込んでいました。でも部活動の仲間にも励まされ、次の大会では絶対に良い結果を残そうと練習に気合いも入りました。県記録をつくること、全中で表彰台に上がることを目標に頑張っていきたいです。(谷 優奈)

選手たちにとってこの大会が思い出に残るものになるよう準備を進めている。

秋季大会は、知多運動公園陸上競技場で10月18日(日)に開催される。

今年度も定通生徒の熱き思いを受け継いでいきたい。(松橋 政人)

## 実業団

○未曾有の経済不況下で各実業団チームは必死に自助努力展開中  
'09年度3月期の決算が各企業から相次いで発表されていますが、残念ながら例外を除き、かなりの企業が赤字決算の状況を呈しています。大変な状態がまだまだ続きそうで、簡単には好転しそうなものない。そんな中で、各実業団のチームも過去に経験したことのない苦しみを受けている。廃部や休部のような最悪な状況を回避できたとしても、活動費の大幅な縮小により、様々な影響を受けているところも少なくない。

活動費については、昨年実績の半分あるいは1/3以下といった厳しいチームも少なくない。運営していくスタッフもいろいろ涙ぐましい自助努力を重ねている。例えば、遠征費など選手の負担軽減のためスタッフは自腹。あるいは、少々ハードスケジュールだが車での移動だと近畿程度くらいまでは日帰りでの大会参加(休日高速料金が1000円が大変助かったとの声も)。また、大会参加料の選手負担など本当に努力している話があちらこちらから聞こえてくる。なんとか早く景気が好転してほしいものだ。それまで皆で頑張ろう。

各企業が経費削減を余儀なくされている現状を考慮し、中部連盟主催の強化合宿や遠征における参加者負担割合を本年度は引き下げることが理事会で確認された。

### ○第53回中部実業団対抗陸上競技大会結果

・5月16日(土)17日(日)に岐阜長良川競技場で開催

された、2日間とも雨の悪天候の中で開催

・成績	総合成績	1位 トヨタ自動車	2位 スズキ(静岡)
		3位 小島プレス	4位 NTN(三重)
		5位 豊田自動織機	6位 濃飛倉庫運輸(岐阜)
	男子総合	1位 トヨタ自動車	2位 スズキ
		3位 小島プレス	4位 NTN(三重)
		5位 豊田自動織機	6位 サンメッセ(岐阜)
	女子総合	1位 スズキ	2位 トヨタ自動車
		3位 小島プレス	4位 濃飛倉庫運輸
		5位 ユタカ技研(静岡)	6位 デンソー(三重)

(樋高 勇二)

## マスターズ陸上

心豊かな長寿社会への貢献役

全日本マスターズ駅伝エルダーの部 初優勝!全国制覇  
新年度早々のビッグニュースは、4月26日(日)鳥取市で開催された第22回都道府県対抗全日本マスターズ駅伝大会エルダーの部で愛知県チームが初優勝したことです。突風と雨の中、第1区女子50歳以上(5km)で三好町の東二三子が2位。第2区男子65歳以上(3km)で東浦町の大泉通がトップに立ち、第3区女子55歳以上(3km)で東浦町の前田真由美が2位でアンカー4区60歳以上(5km)高浜市の佐野昭二につなぎ、佐野がトップを走る大阪府を抜きそのまま初優勝のゴールでした。

なお、男子の部はこれまでの最高位である3位、女子の部は8位とすべての部門で入賞しました。特に男子はこれまでの最強メンバーが揃い、第1区(40歳



以上) 田原市の夏目勝也が2位、2区(60歳以上)安城市の神谷留がトップに立つなど、見所十分な内容で今少し強化すれば優勝を狙える位置まで来ました。来年は、山口県山口市で開催されます。

愛知マスターズ連盟の1年は、毎年3月末に開かれる総会から始まります。今年は3月29日(日)岡崎市体育館で開催されました。議題は20年度決算と21年度の予算案、そして今回は役員改選のため理事の選任議案が提出されました。審議に付された議案では、1件議案名の修正はありましたが、内容はすべて原案どおり承認されました。その後開かれた理事会で役員を選任が行なわれ、会長、理事長等すべての役員が留任し、9月に開催する全日本マスターズ選手権大会に万全を期すことになりました。

4月25日(土)、第22回全国スポレク祭愛知県代表選手選考会をウェーブスタジアム刈谷で開催しました。朝からあいにくの雨となりましたが、全国スポレクの愛知県代表を目指し141人が参加しました。悪天候にも関わらず、女子3000mで知立市の渡辺恵彌子が日本記録を樹立しました。全国スポレク大会での活躍が期待されます。

今年の全国スポレク祭マスターズ陸上は宮崎市で開催されますが、5月10日の理事会で愛知マスターズでは初の女性監督宮崎裕子以下、選考会の成績を基に選考し20名の選手を派遣することに決定しました。

全日本マスターズ選手権大会の準備状況ですが、4月28日には愛知陸協委員長会議が開催され、各委員会の準備状況が報告確認されました。また4月21日には、愛知県教育委員会から正式に実行委員会役員就任承諾書、5月に入り、愛知県と愛知県教育委員会から共催の承諾書が届きました。名古屋市関係も同様に正式の承諾をいただけるよう交渉しているところであります。

競技役員編成作業については出欠調査が行われ、希望された審判員を中心に現在編成作業を進め、6月中には編成を終え、8月下旬には各主任者会議の開催を予定しています。

参加申込の締切りは7月17日となっており、その後はプログラム編成作業が控えています。現在の予定では、9月上旬に第2回実行委員会を開催し、本番に備えることとしています。

(佐野 昭二)

### 愛知陸協 OB 会

愛知陸協 OB 会は満60才以上で、永年にわたり協会の運営に貢献された方で構成し、5月21日現在126名の会員が入会しており、総会・懇親会、旅行、新年会などを開催し、会員同士の親睦を深めています。

また、内規で寿杯規定を設け、米寿(88才)、傘寿(80才)、喜寿(77才)を迎えられた会員に対し、総会時に記念品を贈り、長寿をお祝いしています。

今年は、愛知選手権第一日目(7月18日)、競技終了後総会、懇親会を開催する予定です。

長い間、陸上競技に情熱を傾け、かかわってきた仲間が一層の親睦と交流を深める楽しい会です。

入会を希望される方は下記の世話人までご連絡ください。  
 國分一郎 平林榮治 篠原喜秋 小椋征弘 森満寿男  
 山内 満 古久根啓史 安藤昌男 柴田要吉 竹内信雄  
 村瀬雄一郎 伊藤喜久男

(村瀬雄一郎)

## 競技会報告

### 第64回国民体育大会選手選考競技会国体強化・普及競技会

2009年4月11日・12日

名古屋市瑞穂公園陸上競技場 名古屋市瑞穂公園北陸上競技場

	種目	記録	氏名	学年	校名
男子トラック	100m	10.81	田中 星次		トヨタ自動車
	100mA	11.75	加藤 修	1	名城大附高
	200m	21.67	田村 朋也	2	名古屋大谷高
	400m	48.11	壁谷 智之	2	岡崎高
	800m	1.54.66	勝俣 章博	3	法政大
	1500m	3.59.27	山口 浩勢	3	惟信高
	5000m	14.32.64	土田 豊和		中央発條
	110mH	14.75	久田 尚弥		さかえクリニック TC
	110mJH	15.67	杉浦 涼太	1	名古屋大谷高
	400mH	52.36	伊藤 博貴	4	中京大
	3000mSC	9.13.62	中田 進康		トーエネック
	5000mW	20.17.81	杉本 明洋		ALSOK
男子フィールド	4×100mR	41.53	中村 健太 三浦 豊成 酒谷 昇吾 渡辺 将志	3 3 2 1	名古屋高
	4×400mR	3.21.09	寺西 智紀 鈴木 俊也 山口 実 岡田 壮平	2 3 3 1	名古屋高
	走高跳A	2.06	早川 周吾		安城学園AC
	走高跳B	1.94	竹内 研二		南山AC
	棒高跳A	4.60	山本 聖途	3	岡崎城西高
	棒高跳B	4.70	築地 涼平	3	中京大中京高
	走幅跳A	6.87	金田 純弥	3	名古屋工業大
	走幅跳B	6.40	山崎 翔太	3	中京大中京高
	三段跳A	14.23	平尾亮一郎	2	愛知学院大
	三段跳B	14.83	金田 純弥	3	名古屋工業大
	成年砲丸投	12.64	小山祐一郎		密柑山
	少年砲丸投	14.06	杵本 皓貴	3	名古屋高
高校円盤投	40.96	杵本 皓貴	3	名古屋高	
少年円盤投	30.34	小出 巧実	3	河和中	
少年ハンマー投	54.34	一柳 英之	3	名古屋高	
成年ハンマー投	48.50	吉川 昌利		起ドリームA・C	
やり投	61.19	小野 顕佳	3	名古屋高	

※県中学新記録 200m 22.09 河室裕貴(3) 弥富中

	種目	記録	氏名	学年	校名
女子トラック	100m	12.51	船坂 実来	2	至学館高
	200m	24.91	小林 愛実	3	愛知淑徳高
	400m	57.65	小林 愛実	3	愛知淑徳高
	800m	2.17.41	柘植 早織	2	中京女子大
	1500m	4.44.64	服部 優亜		なごや陸上ク
	3000m	10.08.65	黒柳 文菜	3	西尾高
	5000m	17.54.58	空山真由美		小島プレス
	100mH	13.95	山崎由加里		さかえクリニック TC
	100mYH	14.72	飯田 美咲	1	名城大附高
	400mH	1.02.55	西尾真梨子	3	中京大中京高
	3000mW	15.27.04	細貝 香織	3	千種高
	4×100mR	49.03	山田 侑和 家田 知佳 征矢 萌唯 船坂 実来	2 1 1 2	至学館高
女子フィールド	4×400mR	3.59.07	菅田 真智 松下紗矢香 横井 葵 鈴木香奈子	2 2 1 2	瑞陵高
	走高跳A	1.63	炭 水土里	3	千種高
	走高跳B	1.59	中嶋 文望	3	岡崎城西高
	棒高跳	2.90	牛田智菜美	3	三好高
女子フィールド	走幅跳A	5.66	中田 有紀		日本保育サービス
	走幅跳B	5.13	福島 千広	1	名城大附高
	砲丸投	11.40	近田 茜	2	名城大附高
	円盤投	38.90	宮崎真由美		小島プレス

ファイナル	ハンマー投	30.02	野田 瞳	2	起工高
	やり投	44.98	東野 麻衣	3	愛知教育大

※県中学タイ記録 棒高跳 2.80 松下琴子 (3) 千種中

**第64回国民体育大会選手選考春季選抜競技大会決勝**  
 2009年4月19日 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

		種目	記録	氏名	学年	校名
男子トラック	成年	200m	21.44	服部 辰也	4	中京大
		800m	1.55.98	鈴木 俊介	3	愛知学院大
		110mH	14.25	久田 尚弥		さかえクリニック TC
		400mH	56.24	牧 祐輝	6	名古屋大
	少年A	100m	10.96	三輪 将之	3	中京大中京高
		400m	49.16	鈴木 俊也	3	名古屋高
		400mH	54.76	天野 涼太	2	岡崎城西高
	少年B	100m	11.24	笹田 康弘	1	東海高
		3000m	9.23.12	酒井 一	1	愛知高
		110mJH	15.77	清水 陽平	1	中京大中京高
少年共通	800m	1.58.72	山本 龍	3	岡崎城西高	
男子フィールド	成年	棒高跳	4.40	一ノ瀬 航	1	愛知教育大
		走幅跳	6.97	金田 純弥	3	名古屋工業大
		砲丸投	12.51	小山祐一郎		密柑山
	少年A	走幅跳	6.79	松原 瑞貴	2	名城大附高
		三段跳	14.18	伊藤嶺一郎	3	中京大中京高
		砲丸投	14.79	松本 皓貴	3	名古屋高
		ハンマー投	54.21	増田 遼	3	名古屋高
	少年A	やり投	59.32	小野 顕佳	3	名古屋高
	少年B	円盤投	33.55	墨 訓熙	1	起工高
	少年共通	走高跳	1.95	高木健太郎	2	名東高
棒高跳		4.80	山本 聖途	3	岡崎城西高	

		種目	記録	氏名	学年	校名
女子トラック	成年	200m	25.22	鷹羽 桃子	M1	中京女子大
		800m	2.21.02	市川 真弓	3	愛知学院大
		100mH	14.21	山崎由加里		さかえクリニック TC
		400mH	1.03.44	林 加世子		トヨタ自動車
	少年A	100m	12.78	後藤 香奈	3	岡崎城西高
		400m	58.88	小林 愛実	3	愛知淑徳高
		800m	2.21.81	西川 実希	3	一宮興道高
	少年B	3000m	10.10.74	鈴木 萌未	2	愛知淑徳高
		100mH	15.18	近藤 友美	3	中京大中京高
		100m	13.03	山田 恵里	1	中京大中京高
女子フィールド	成年	1500m	4.46.93	服部 優亜	3	なごや陸上ク
		100mYH	14.86	飯田 美咲	1	名城大附高
		走高跳	1.65	松本明日美		中京大クラブ
	少年A	走幅跳	5.05	山口 えり	1	中京大
		円盤投	39.45	加藤 千枝	2	中京女子大
		ハンマー投	34.81	野田 瞳	2	起工高
		砲丸投	10.20	高塚 裕子	1	名城大附高
	少年共通	走高跳	1.65	炭 水土里	3	千種高
		棒高跳	3.20	牛田智菜美	3	三好高
		走幅跳	5.33	布施 和花	1	至学館高
	円盤投	36.61	鳥影のぞみ	3	至学館高	
	やり投	42.33	田中 真央	3	至学館高	

※県中学新記録 少年共通棒高跳 2.90 松下琴子 (3) 千種中

**第75回東海学生陸上競技対校選手権大会**  
 平成21年5月15日(金)～5月17日(日)  
 名古屋市瑞穂公園陸上競技場 名古屋市瑞穂公園北陸上競技場

		種目	記録	氏名	学年	校名
男子トラック	100m	10.59	杉本 隆	2	中京大	
	200m	21.50	横井 佑哉	4	愛知大	
	400m	47.35	北山 慎一	4	中京大	
	800m	1.55.11	前田 洋平	2	中京大	
	1500m	4.04.33	小野 郁文	2	皇學館大	
	5000m	14.41.53	中田 剛司	3	三重中京大	
	10000m	30.11.26	中田 剛司	3	三重中京大	

男子トラック	110mH	14.50	大上 将志	3	中京大
	400mH	51.34	山内 博貴	1	中京大
	3000mSC	9.08.45	鈴木 慎	4	静岡大
	10000mW	44.10.34	尾上 雄基	1	中部学院大
	4×100mR	39.95	加藤 広隆 杉本 辰也 服部 博崇 田口 慎一	M1 2 4 2	中京大
	4×400mR	3.08.32 TUR・GR	上田 祐貴 星畑 朗人 古川 拓夢 北山 慎一	3 1 1 4	中京大
男子フィールド	走高跳	2.09	衛藤 昂	4	鈴鹿高専
	棒高跳	4.80	岡田 公志	3	中京大
	走幅跳	7.36	南方 邦宏	4	岐経大
	三段跳	14.88	堂國 貴裕	M2	静岡大
	砲丸投	14.13	大庭 利氏	2	浜松大
	円盤投	43.37	久保 博規	3	中京大
	ハンマー投	60.13	佐藤 享	4	中京大
やり投	66.10	荒木 崇裕	3	中京大	
混成	十種競技	7004	東中陽太郎	4	中京大

TUR：東海学生新記録 GR：大会新記録

最優秀選手 中田剛司 三重中京大 5000m・10000m

		種目	記録	氏名	学年	校名
女子トラック	100m	12.36	市川 華菜	1	中京大	
	200m	24.79	市川 華菜	1	中京大	
	400m	56.06	鷹羽 桃子	M1	中京女大	
	800m	2.13.41	西川 生夏	4	名城大	
	1500m	4.27.25	西川 生夏	4	名城大	
	5000m	16.27.16	須谷 綾香	2	名城大	
	10000m	33.21.99 GR	小田切亜希	1	名城大	
	100mH	14.63	安藤由加里	2	中京女大	
	400mH	1.01.27	土屋なつみ	3	中京女大	
	5000mW	23.20.19 TBP・GR	宮川 朋美	2	中部学院大	
女子トラック	4×100mR	46.65	高木 希実 門奈 美和 仲田 千秋 今井沙緒里	4 M1 3 1	中京大	
	4×400mR	3.48.04 GR	土屋なつみ 鷹羽 桃子 下道 美奈 柘植 早織	3 M1 1 2	中京女大	
	走高跳	1.63	服部 珠美	2	中京大	
	棒高跳	3.50	渡邊みなみ	4	愛教大	
女子フィールド	走幅跳	5.73	渡邊 千洋	3	愛教大	
	三段跳	12.18	安藤 結	4	中京大	
	砲丸投	13.16	片嶋 佑果	2	愛教大	
	円盤投	49.44	江島 成美	4	中京大	
	ハンマー投	54.74	奥 寛子	4	中京大	
	やり投	51.39 GR	江島 成美	4	中京大	
	混成	七種競技	4864	富山 朝代	4	中京大

TBP：東海学生新記録 GR：大会新記録

最優秀選手 江島成美 中京大 円盤投・やり投

**第63回愛知県高等学校総合体育大会陸上競技大会**  
 兼秩父宮賜杯第62回全国高等学校陸上競技対校  
 選手権大会東海地区予選会愛知県大会  
 2009年5月22日～24日 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

※太字の斜体は、大会新

		種目	順位	記録	氏名	校名
男子トラック	100m	優勝	<b>10.62</b>	三輪 将之	中京大中京	
	200m	優勝	21.38	三輪 将之	中京大中京	
	400m	優勝	48.66	古池 勁太	名古屋	
	800m	優勝	2.00.14	水野 眞敬	春日井	
	1500m	優勝	3.58.18	小島 秀斗	豊川工	
	5000m	優勝	14.42.69	小島 秀斗	豊川工	
	110mH	優勝	14.8	小久保翔太	成章	

男子トラック	400mH	優勝	54.23	壁谷 智之	岡崎
	3000mSC	優勝	9.15.14	山口 浩勢	惟信
	5000mW	優勝	22.29.21	木村 洋介	弥富
	4×100mR	優勝	<b>41.12</b>	西垣 佳哉 三輪 将之 成瀬 慎也 大野 将士	中京大中京
	4×400mR	優勝	3.17.17	古池 勁太 鈴木 俊也 中村 健太 岡田 壮平	名古屋
男子フィールド	走高跳	優勝	1.97	川端 哲矢	岡崎城西
	棒高跳	優勝	4.8	山本 聖途	岡崎城西
	走幅跳	優勝	6.95	酒谷 昇吾	名古屋
	三段跳	優勝	14.36	伊藤嶺一郎	中京大中京
	砲丸投	優勝	14.57	柘植 洋平	愛工大名電
	円盤投	優勝	45.55	杵本 皓貴	名古屋
	ハンマー投	優勝	56.24	一柳 英之	名古屋
	やり投	優勝	<b>64.23</b>	小野 顕佳	名古屋
八種競技	優勝	5452	山崎 翔太	中京大中京	

総合

- ①名古屋 84点 ②中京大中京 49点 ③愛工大名電 26点  
 トラック  
 ①名古屋 36点 ②中京大中京 26点 ③岡崎 21点  
 フィールド  
 ①名古屋 45点 ②中京大中京 17点 ③愛工大名電 16点

種目	順位	記録	氏名	校名	
100m	優勝	12.29	後藤 香奈	岡崎城西	
200m	優勝	24.96	福島 優	愛知淑徳	
400m	優勝	57.59	真柄美乃里	愛知	
800m	優勝	2.16.11	竹内麻里子	中京大中京	
1500m	優勝	4.35.79	小林 愛実	豊川工	
3000m	優勝	<b>9.14.84</b>	伊澤菜々花	豊川	
100mH	優勝	14.64	近藤 友美	中京大中京	
400mH	優勝	1.02.47	西尾真梨子	中京大中京	
3000mW	優勝	14.14.51	前川 知美	岡崎商	
4×100mR	優勝	48.68	近藤 友美 小椋 敦子 山田 恵里 飯田 美紀	中京大中京	
4×400mR	優勝	<b>3.51.10</b>	横井 葵 安保 真衣 菅田 真智 松下紗夕香	瑞陵	
女子フィールド	走高跳	優勝	1.67	北島 菜瑠	瑞陵
	走幅跳	優勝	5.44	小島 未紗	名城大附
	砲丸投	優勝	12.67	近田 茜	名城大附
	円盤投	優勝	38.42	島影のぞみ	至学館
	やり投	優勝	43.95	萩原 麻子	豊田大谷
	七種競技	優勝	4092	木村 映里	瑞陵

総合

- ①至学館 48点 ②中京大中京 40点 ③瑞陵 33点  
 トラック  
 ①中京大中京 40点 ②愛知淑徳 29点 ③至学館 27点  
 フィールド  
 ①名城大附 25点 ②至学館 21点 ③岡崎城西 14点

第22回都道府県対抗・全日本マスターズ駅伝  
 鳥取大会愛知県成績

平成29年4月26日(日) 暴風雨 鳥取県営布勢陸上競技場周辺コース 監督 近藤 健志

- 男子の部 参加 28 都府県 2.03.27 3位  
 区間 距離 年齢クラス 選手名 所属  
 1区 6.75k M40 夏目 勝也 TWRC  
 2区 5.70k M60 神谷 留 館クラブ  
 3区 5.70k M55 豊川 稔 館クラブ  
 4区 5.70k M50 中山 史信 愛教大名古屋

- 5区 5.70k M45 村瀬 裕之 愛知製鋼  
 6区 6.75k M35 江本 悟司 三菱自工岡崎

女子の部 参加 20 都府県 1.02.37 8位

- 区間 距離 年齢クラス 選手名 所属  
 1区 5.0k W35 平松 智子 スポーツ・デポ  
 2区 3.0k W40 中山 淳子 愛教大名古屋  
 3区 3.0k W40 加藤 順子 菊里クラブ  
 4区 5.0k W35 今村 京子 庄内RT

エルダーの部 参加 20 府県 1.04.19 1位

- 区間 距離 年齢クラス 選手名 所属  
 1区 5.0k W50 東 二三子 三好走ろう会  
 2区 3.0k M65 大泉 通 東海走友会  
 3区 3.0k W55 前田真由美 東海走友会  
 4区 5.0k M60 佐野 昭二 愛知県庁クラブ

理事会等会議報告

○理事会 平成21年5月22日(金) 愛知県教育会館

1 協議事項

- ①平成20年度一般概要報告(稲垣総務委員長)
- ②平成20年度事業報告(外山理事長)(北村強化委員長)
- ③平成20年度収支決算報告(竹内会計) 監査報告(萬谷監事)

- ④平成21年度事業計画(案)(外山理事長)
- ⑤平成21年度収支予算書(案)(竹内会計)

⑥その他

- ・陸協主要大会の役員招待について(國分副会長) 役員…会長・副会長・支部長・顧問・参与

2 報告事項

- ①平成21・22年度愛知陸協役員について(外山理事長) 新役員承認される。
- ②平成21年度要覧について(外山理事長) 一部要覧の変更について。
- ③JAAFジュニア育成事業について(國分副会長) 愛知-U18・静岡-U15・三重-U12
- ④2010年日本ジュニア・ユースについて(外山理事長) 来年10月中旬に3日間開催の予定。
- ⑤各専門委員会の報告
  - ・広報委員会(外山修年誌・資料広報委員長) 年間計画(14号~17号)について。
  - ・記録委員会(岡田記録委員長) 2009年 県新記録について。
  - ・施設・用器具委員会(青木施設用器具委員長) 検定関係・委員会組織について。
- ⑥その他(外山理事長)
  - ・日本陸連女性委員会委員について 脇田女性委員長が陸連の女性委員となる。
  - ・平成21年度愛知陸協会長表彰受賞候補者の推薦について
  - ・第69回愛知選手権大会選手権賞寄贈の依頼について
  - ・国際・全日本マスターズ選手権大会について
  - ・第22回愛知県勤労者スポーツ大会の会場変更について 愛・地球博記念公園で実施の予定。
  - ・県営一宮陸上競技場について(原川尾張理事長)

- 定時評議員会 平成21年5月29日(金) 愛知県教育会館 評議員数203名中、147名出席(委任状含む)。出席率72.4%で、愛知陸上競技協会規約第20条1項に基づき、

評議員の半数以上(委任状を含む)の出席があるので評議員会は成立。

1 協議事項

- ①平成20年度一般概要報告(稲垣総務委員長)
- ②平成20年度事業報告(外山理事長・北村強化委員長)
- ③平成20年度収支決算報告(竹内会計)
  - 監査報告(若松監事)
- ④平成21年度事業計画(案)(外山理事長)
- ⑤平成21年度収支予算書(案)(竹内会計)
- ⑥愛知陸上競技協会参与の承認について(外山理事長)
- ⑦日本陸上競技連盟評議員の追加の承認について(外山理事長)
- ⑧役員招待規定について(外山理事長)
- ⑨その他
  - 以上すべての議案が了承される。(稲垣 裕)

平成20年度 愛知陸上競技協会収支決算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

収入総額	118,667,641 円
支出総額	99,476,776 円
差引残額	19,190,865 円(次年度への繰越金)

○ 収入の部 単位: 円

科目	予算額	決算額	差異
前年度繰越金	17,017,000	17,016,039	961
加盟金	17,390,000	18,204,300	△814,300
補助金	1,490,000	1,491,700	△1,700
分担金	44,330,000	43,646,141	683,859
賛助金	570,000	852,400	△282,400
交付金	10,080,000	10,094,570	△14,570
広告料	1,600,000	2,315,105	△715,105
参加料	16,646,000	18,789,600	△2,143,600
小学生友の会	615,000	550,000	65,000
雑収入	4,223,000	5,707,786	△1,484,786
合計	113,961,000	118,667,641	△4,706,641

○ 支出の部 単位: 円

科目	予算額	決算額	差異
運営費	17,458,000	17,709,512	△251,512
事業費※	78,048,000	79,374,999	△1,326,999
負担金	1,880,000	1,892,265	△12,265
基本金	0	500,000	△500,000
予備費	16,575,000	0	16,575,000
小計	113,961,000	99,476,776	14,484,224
次年度繰越金	0	19,190,865	△19,190,865
合計	113,961,000	118,667,641	△4,706,641

※事業費の内訳 単位: 円

科目	予算額	決算額	差異
競技会費	16,469,000	17,082,745	△613,745
共催事業費	38,752,000	37,196,368	1,555,632
派遣費	11,040,000	12,079,845	△1,039,845
強化費	8,097,000	8,852,339	△755,339
普及費	3,690,000	4,163,702	△473,702

平成21・22年度 愛知陸上競技協会役員

	役名	氏名	推薦支部	委嘱委員長等
1	会長	梅村 清弘		
2	副会長	國分 一郎		
3	支部長	小椋 征弘	尾 張	
4	支部長・会計	竹内 信雄	名古屋	
5	支部長	山内 満	西三河	
6	支部長	夏目 輝久	東三河	

7	理事長	外山 幸男	名古屋	
8	副理事長	稲垣 裕	会長推薦	総務委員長
9	常務理事	石鎚 一則	会長推薦	競技・情報処理委員長
10	常務理事	榊原 茂	名古屋	審判委員長
11	常務理事	岡田 武彦	会長推薦	記録委員長
12	常務理事	北村 肇	名古屋	選手強化委員長
13	常務理事	青木 実	会長推薦	施設用器具委員長
14	常務理事	外山 修	西三河	年誌資料・広報委員長
15	常務理事	脇田 千鶴	会長推薦	女性委員長
16	常務理事	原川 豪	尾 張	支部理事長
17	常務理事	坂井田 馨三	名古屋	支部理事長
18	常務理事	柴田 和秀	西三河	支部理事長
19	常務理事	兵藤 重二	東三河	支部理事長
20	理事	杉山 裕二	尾 張	
21	理事	水野 隆夫	名古屋	総務副委員長
22	理事	安田 純久	名古屋	競技・情報処理副委員長
23	理事	植田 准次	名古屋	
24	理事	野村 弥寿男	西三河	
25	理事	仲井 雅弘	東三河	
26	理事	小森 好治	会長推薦	審判副委員長
27	理事	伊藤 明久	会長推薦	強化幹事長
28	理事	石田美知枝	会長推薦	女性副委員長
29	理事	室伏 重信	会長推薦	
30	派遣理事	樋高 勇二	中部実業団	
31	派遣理事	安藤 好郎	東海学連	
32	派遣理事	大島 修	高体連	
33	派遣理事	久米 裕朗	中小体連	
34	派遣理事	佐野 昭二	マスターズ	
35	監事	萬谷 康幸	尾 張	
36	監事	若松 良一	名古屋	
37	監事	中尾 洋一	西三河	
38	監事	鈴木 政男	東三河	
39	秘書	宮本 智	理事会推薦	

日本陸上競技連盟派遣役員

- 理事 外山 幸男
- 評議員 国分 一郎 竹内 信雄 青木 実
- 稲垣 裕 榊原 茂
- 検定員 青木 実
- JTO 稲垣 裕

愛知県体育協会派遣役員

- 評議員 外山 幸男
- 競技委員 稲垣 裕

編集後記

●トラックシーズンが幕を開け、早や3ヵ月が過ぎた。若い芽が伸び、一層の活躍を期待したい●國分一郎氏から外山幸男氏へ理事長職がバトンタッチされた。新体制への期待も大きい●広報誌をより充実するために、ご意見ご要望をぜひお聞かせください。

編集委員

- 占部 輝之 大久保真理子 大西 敏功 外山 修
- 中尾 洋一 新美 準人 西垣 完彦 野口 一昭
- 山本 三郎